

## ■総括

少子・高齢社会の一層の進展や経済情勢や雇用環境の変化、人口減少並びに家族形態の変容などを背景に、一人暮らし高齢者の増加や地域の連帯感の希薄化によるコミュニティの脆弱化が叫ばれており、ひきこもりや社会的孤立の問題、権利擁護、生活困窮といった新たな福祉課題・生活課題が深刻化している。こうした課題は高齢者だけではなく様々な世代にわたっている。

本会では、こうした状況を深く認識し、地域福祉をさらに推進するため行政等の関係機関、各種団体・専門機関等との連携・協働体制を強化し様々な事業を実施した。常に住民や利用者の立場に立ち、皆が助け合い、支え合いながら安心して住み慣れた地域や自宅で生活できるよう地域福祉事業や介護保険事業に取り組んできた。

平成27年度の重点目標の1点目として、住民参加・協働による地域福祉事業の推進を掲げ取り組みを行った。多様な地域ニーズが増加している中、地域住民の参画と各関係機関との連携を強化した。

2点目の地域における支え合いの仕組みの構築では、介護保険制度等で対応できないニーズへの取組みが課題となっている。公的サービスの提供と共に住民参加によるインフォーマルな支援も必要となっているため、住民参加型のサービスの実施に向けた取り組みを進めた。地域福祉活動支援事業の推進や地域福祉活動モデル自治会推進事業など住民相互の支え合い・助け合いの仕組み作りを推進した。

3点目の地域に根ざした総合相談・援助体制の確立では、問題を抱える世帯や個人においてはその内容が複雑化、多様化している状況にある。他の関係機関と連携が必要なケースも多く、総合的に支援できる社協の役割が求められており、職員や相談員の専門性を高めながら適切に対応できる体制づくりとして、内部研修、外部研修を推進した。

4点目の社協会員の加入促進では、事業を通じて会費の目的、使用用途の説明などを行い新規加入者は数件増えたものの全体の加入数は昨年度と比べ減少となった。会費が貴重な財源になっていることを、各種事業を通して今後も機会あるごとに周知したい。

5点目の生活困窮者への相談支援の強化では、北秋田市より新たに自立相談支援事業（10月より家計相談支援事業も受託）を受託して事業を開始した。相談では複合的な課題を抱えたケースが多かったため、住民にとって身近な相談機関として丁寧な対応を心がけた。また、毎月1回開催している支援調整会議を通じて各関係機関との連携が強化された。

6点目の透明性、中立性、公平さのある運営の確立では、地域住民の代表である理事が法人の方針決定に参画し、評議員から広く意見を聴き適正な経営に努めた。また役員

監査は年2回実施し、公認会計士による指導も月1回実施している。事業計画、予算、事業報告、決算は社協だよりやホームページで全市民に公開している。

7点目の中長期の経営計画と新たな事業への積極的な取り組みについては、毎月1回法人経営会議を開催し、「増収と経費削減」を目標に取り組んだ。また、北秋田市の第6期介護保険事業計画に基づき申請したところ、広域型の特別養護老人ホーム60床に当法人が選定された。

8点目の人材育成と教育システムの確立では、福祉の基盤は人材であり、質の高いサービスを提供するために、職員にはヒューマンスキルと高い専門性が求められている。外部研修参加の他、内部研修として新任研修、交通安全研修、腰痛予防研修、メンタルヘルス研修など多方面にわたって研修の機会を提供し職員がやりがいと誇りを持って従事できる環境の整備に努めた。法人の期待する職員像に基づき職務能力の開発や成長を目的とした人材育成として「リーダー研修」を実施した。また、内部登用試験を実施し人材の確保やモチベーション維持につなげた。

職員の離職率は10.2%台となっている。また、育児休業は対象となっている職員6名全員が取得しており、取得しやすく、また復帰しやすい職場環境が定着している。全職員を対象とした面接を年1回実施しており、個別指導を行うとともに職員の意見を聴く機会としている。定年退職者には、高年齢雇用継続を説明して本人の意思を確認している。

## 1、会務の運営

定款に基づき、適正な法人運営を図るため、理事会、評議員会を開催し、各種規程の見直しや住民参加の事業推進に取り組んだ。内部監査として、役員監事3名により財務と業務の監査を年2回実施し、外部監査としては公認会計士から月に1回指導を受け、透明性のある会計処理と財務状況の分析を行った。

### 【理事会の開催】

開催日	会場	出席者	案件
平成27年 4月27日	北秋田市森吉生活支援ハウス	理事13名 監事 3名	① 規程の改正及び制定について
平成27年 5月28日	北秋田市森吉生活支援ハウス	理事14名 監事 2名	① 定款の変更について ② 施設長・所長の任免について ③ 平成26年度事業報告並びに収支決算について

			④ 平成27年度第1次補正予算(案)について
平成27年 8月 4日	北秋田市森吉生活支援ハウス	理事 14名 監事 3名	① 新規事業の計画について
平成27年12月15日	北秋田市森吉生活支援ハウス	理事 15名 監事 3名	① 特別養護老人ホーム整備事業計画について ② 基金の取崩について ③ 規程の改正及び制定について ④ 平成27年度第2次補正予算(案)について ⑤ 評議員の同意について
平成28年 3月28日	北秋田市森吉生活支援ハウス	理事 13名 監事 3名	① 平成27年度第3次補正予算(案)について ② 規程の改正について ③ 平成28年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について

#### 【監事会の開催】

開催日	会場	出席者	案件
平成27年 5月22日	北秋田市森吉生活支援ハウス	3名	① 平成26年度事業報告並びに収支決算について
平成27年11月27日	ケアタウンたかのす 北秋田市地域福祉センター	1名	各支所施設監査 ・ケアタウンたかのす ・たかのす地域福祉センター
平成27年11月30日	あいかわ地域福祉センター もりよし地域福祉センター	1名	各支所施設監査 ・あいかわ地域福祉センター ・もりよし地域福祉センター
平成27年11月30日	養護老人ホームもろび苑 あに地域福祉センター	1名	各支所施設監査 ・養護老人ホームもろび苑 ・あに地域福祉センター

平成27年12月1日	北秋田市森吉生活支援ハウス	3名	① 平成27年度上半期事業報告並びに収支決算について
------------	---------------	----	----------------------------

### 【評議員会の開催】

開催日	会場	出席者	案件
平成27年 5月28日	北秋田市森吉生活支援ハウス	評議員 22名 監事 1名	① 定款の変更について ② 平成26年度事業報告並びに収支決算について ③ 平成27年度第1次補正予算(案)について
平成27年12月15日	北秋田市森吉生活支援ハウス	評議員 24名	① 特別養護老人ホーム整備事業計画について ② 基金の取崩について ③ 平成27年度第2次補正予算(案)について
平成28年 3月28日	北秋田市森吉生活支援ハウス	評議員 22名	① 平成27年度第3次補正予算(案)について ② 平成28年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について

### 【正副会長会議】

開催日	会場	出席者	案件
平成27年 4月24日	北秋田市地域福祉センター	4名	① 4月27日開催の理事会に上程する議案について
平成27年 5月25日	あいかわ地域福祉センター	4名	① 5月28日開催の理事会、評議員会に上程する議案について
平成27年 8月 4日	北秋田市森吉生活支援ハウス	4名	① 8月4日開催の理事会に上程する議案について
平成27年12月14日	北秋田市森吉生活支援ハウス	4名	① 12月15日開催の理事会、評議員会に上程する議案について

平成28年 3月22日	北秋田市森吉生活支援ハウス	3名	① 3月28日開催の理事会、評議員会に上程する議案について
-------------	---------------	----	-------------------------------

**【各地域福祉センター運営委員会】**

開催日	地区名	会場	出席者	案件
平成27年11月16日	鷹 巣	北秋田市地域福祉センター	7名	① 委員長・副委員長の選任について
平成27年11月18日	合 川	あいかわ地域福祉センター	9名	② 平成27年度上半期事業報告並びに収支状況について
平成27年11月19日	阿 仁	北秋田市役所阿仁支所	8名	③ 平成28年度事業計画に伴う地域課題について
平成27年11月20日	森 吉	北秋田市森吉生活支援ハウス	7名	④ その他

**【法人経営会議】**

毎月1回、「増収と経費削減」に向け、幹部職員、現場の職員が一堂に会し協議している。職員の経営感覚の醸成、意識改革につながっている。

**【支所長会議】**

毎月1回、各支所長、部長、施設長等の管理職が出席し、各支所施設の情報の交換伝達及び事務事業の調整を行っている。

**【運営会議】**

毎月1～2回、各センター（事業所）、各施設において情報の共有と連絡調整を行っている。法人の方針や事業内容の周知がなされている。

**【苦情解決会議】**

毎月1回、各センター（事業所）、各施設において事務局、現場の職員が一堂に会して利用者の方からの苦情に対して真摯に取り組む体制づくりに努めている。職員のリスクに対する意識を高め、リスクマネジメントの徹底を図った。苦情とヒヤリハットは小さな事柄でも常に報告し、全職員がサービスの向上と改善、再発防止に努めている。

### 【看護専門部会】

毎月1回開催し、各事業所の看護師が最新の医療について学び、情報交換を行っている。専門職に必要とされる知識と技術を高め、看護師のスキルアップにつなげるよう努めている。

### 【感染症対策委員会】

毎月1回、各事業所の看護師と事務局をメンバーに委員会を開催している。感染症について知識を深めるために専門家を講師として勉強会を実施し、最新の情報を職員へ落とし込み、危機意識を高めるようにしている。職員の感染症予防の一環として全職員を対象にインフルエンザの予防接種を実施している。

### 【安全衛生委員会】

毎月1回、労働災害防止の取り組みや職員の健康管理を目的に安全衛生委員会を開催している。職場での災害の防止、疾病予防として基本となるべき対策を衛生管理者、産業医の指導を受けて取り組んでいる。

### 【各種委員の派遣状況】

地域福祉部 暮らし相談係 成田啓悦を秋田県社会福祉協議会主催の認知症介護実践リーダー研修の講師として派遣している。

開催日	会議等名称	会場	内容
平成27年 4月 9日	第1回カリキュラム 検討委員会	秋田市 秋田県社会福祉会館	カリキュラムの策定
平成27年10月14日	平成27年度 認知 症介護実践リーダー 研修	秋田市 秋田県社会福祉会館	講義「スーパービジョンと コーチング」
平成27年12月11日	平成27年度 認知 症介護実践リーダー 研修	秋田市 秋田県社会福祉会館	指導「研修のまとめ」
平成28年 2月25日	第2回カリキュラム 検討委員会	秋田市 秋田県社会福祉会館	カリキュラムの見直し等

【市社協全体の職員研修会】

開催日	研修名	内容
平成27年 4月1日 2日 } 平成28年 1月6日 7日 }	新任職員研修	職務の遂行に役立つ基礎知識と基本能力を習得することを目的として開催。新規採用職員を対象に2日間の研修を2回実施。
平成27年 5月12日 5月13日 5月15日	全戸訪問活動事前研修会	全戸訪問活動を実施するにあたっての進め方、社協の事業等を学ぶ。
平成27年11月30日 12月 4日	交通安全研修	冬道の運転と事故原因、危険個所について再確認し、社協職員としての交通安全に関する意識を高めた。 講師 北秋田警察署 職員384人参加
平成27年12月11日	腰痛予防研修	講師 運動指導士 関村 幸子 氏 内容 「腰痛予防改善・運動不足解消対策」 職員35人参加
平成28年 3月17日	メンタルヘルス研修会	講師 秋田産業保健総合支援センター メンタルヘルス対策促進員 保坂雅和 氏 職員43人参加

【リーダー研修】

開催日	研修名	内容
平成27年10月30日	リーダー研修	平成28年1月より開始されるマイナンバー制度について、スムーズな開始となるよう理解を深める。 演題 「マイナンバー制度について」 講師 秋田県企画振興部情報企画課 職員53人参加

※ その他、各センター、各施設、各事業所においても毎月1回、研修計画を基に勉

強会を行い、資質向上に努めている。

※ 職員にとって確かな知識と高い技術を身につけることは不可欠であり、職員の資格取得を奨励している。結果として、平成27年度においては新たに介護福祉士5名、介護支援専門員4名が合格した。

## 2. 総合企画・啓発活動

### ① 第11回北秋田市社会福祉大会

- ・開催日 平成27年11月14日（土）
- ・会場 北秋田市文化会館
- ・参加者 600人
- ・テーマ 「地域創生 今地域をみつめよう」
- ・活動報告 「福祉教育応援事業活動報告」  
北秋田市立米内沢小学校  
北秋田市立鷹巣南小学校
- ・記念講演 「私の旅、出会い、そして学問」  
酒井 ツギ子 氏

式典では福祉活動に貢献した6団体と67名を表彰したほか、秋田県共同募金会長表彰の伝達も行われた。

第2部の活動報告では、「福祉教育応援事業活動報告」と題し2校の小学校からの発表を行った。米内沢小学校では夏休みに地域住民、消防署員と合同で実施した「防災キャンプ」について、鷹巣南小学校では地域に伝わる伝統芸能「上舟木駒踊り」を披露した。

記念講演では、教育学者の酒井ツギ子氏を招き、「私の旅、出会い、そして学問」と題し、世界中を旅して得た経験や価値観についてご講演いただいた。

酒井氏は旧鷹巣町に疎開し、高校卒業まで在住した。当時の思い出話に触れたり、海外で経験したスケールの大きな話に参加者は感嘆して聞いていた。

### ② ふれあい祭り

- ・開催日 平成27年8月8日（土）
- ・会場 あいかわ地域福祉センター
- ・参加者 200人

中学生をはじめ地域住民、ボランティアの協力のもと開催されている。共同募



金の助成金で実施されている事業であることのPRも含め、連帯感を持った地域づくりを考える契機になっている。

③ あいかわ福祉の集い

- ・開催日 平成27年11月21日(土)
- ・会場 合川農村環境改善センター
- ・参加者 223人

住民参加の福祉活動をめざして開催。共同募金の助成金で実施されている事業であることのPRも含め、福祉課題を考える契機になっている。

④ 「ケアタウンたかのす」における啓発活動

開催日	事業名	内容
平成27年4月26日 ～5月6日	桜まつり	植樹した桜の開花に合わせてボランティアによるステージ、職員による演芸ショー、音楽会、利用者によるのど自慢を開催。
平成27年6月4日	花の広場	地域のボランティアや近隣の小中学生の参加を得て施設敷地内の花壇に植栽を実施。 また小中学生を対象とした標語を募集し、開会で優秀作品を表彰。 参加者 約210人
平成27年8月30日	夏祭り	出店、屋台、イベント、ステージ、また近隣地区の親子会や婦人会の協力を得て御輿、盆踊りなどを行い地域の方々との交流を深めた。
平成27年9月10日	敬老式	老健ご利用者を対象に長寿をお祝い。式典では七日市保育園児の遊技披露、また来賓及びご家族との会食、記念撮影を行い、敬老を祝した。
平成27年12月19日	忘年会	ご利用者や家族、地域住民が参加し、職員による余興、抽選会や会食を楽しみ交流した。ご利用者の一年をスライドショーで上映し1年を振り返りながら歓談をした。
月1回	ケアタウンだより発	施設内の行事や生活状況、職員紹介を掲載

	行（1回450部発行）	しご家族始め関係者へ施設情報を発信した。
随時	施設見学の受け入れ  ボランティア・実習の受け入れ	施設への理解を深めていただくために、見学受け入れを随時行っている。  受入れ人数 96人 児童、生徒、地域住民等のボランティア及び専門技術の実習などを受け入れている。  延548人

⑤ 「もろび苑」における啓発活動

開催日	事業名	内容
平成27年 8月 6日	納涼祭	盆踊りと花火、もろび苑の様子のDVD上映、屋台。  参加者 約280人
平成27年 9月16日	運動会	入所者の他、デイサービス利用者、自治会老人クラブ、保育園、小学生も参加し地域の世代間交流の場にもなっている。  参加者 180人
随時	ボランティア・職場体験の受け入れ	児童、生徒、地域住民等のボランティア及び職場体験などを受け入れている。  延80人

⑥ はり・あんま施術奉仕

- ・開催日 平成27年8月26日～28日
- ・会場 老人憩いの家「ことぶき荘」
- ・延利用者 126人

秋田県立盲学校の生徒8名、先生2名による施術奉仕が行われた。50年以上行われているため、住民の方々は心待ちにされており定着している事業である。

⑦ 社協だよりの発行

- ・発行月 平成27年4月、6月、8月、10月、12月、平成28年2月（年6回）
- ・部数 14,400部

- ・内 容 地域の福祉活動、在宅福祉サービス、介護サービス、心配ごと相談、共同募金等、読みやすい社協だよりとして、活字の大きさやレイアウトの工夫に取り組んだ。

### ⑧ 苦情解決第三者委員相談日

- ・開催日 平成27年7月24日・28日・29日
- ・会 場 各事業所15カ所
- ・相談者 20人

平成27年度は1回開催。各事業所に第三者委員が出向いて、相談する側の心情に配慮しながら苦情を申し出やすい環境整備に取り組んだ。第三者委員が普段の会話の中から集約したことによって、様々な意見を伺う機会となった。

### ⑨ 苦情解決第三者委員研修会

開催日	会 場	出席者	内 容
平成27年10月20日	北秋田市森吉生活支援ハウス	11名	① 福祉サービスの苦情解決について ② 報告「苦情解決第三者委員相談日設置の結果について」 ③ 相談・苦情の内容及び対応結果について ④ 意見交換

## 3. 福祉を支える人づくり

### ① 介護職員初任者研修

- ・開催日 平成27年9月2日～10月28日
- ・会 場 北秋田市地域福祉センター、補助器具センター
- ・受講生 11人

北秋田地域における介護、福祉を担う人材育成の一翼を担うとともに、受講者には個別に面談を行い就労支援を実施した。受講者11人全員が資格取得となったが、家庭の事情等で新たに就業に結びついた方がいなかった（既に就業している方を除く）。

### ② 福祉体験学習

＜高齢・障害・児童施設の職場体験・朗読ボランティア・福祉用具体験＞

- 開催日 平成27年7月8日
- 会 場 鷹巣東小学校

- 参加者 鷹巣東小学校4年生 14人  
 ○開催日 平成27年7月30日～8月24日 (11日間)  
 会場 児童館、子育てサポートハウス  
 地域福祉センターデイサービス  
 地域福祉センター録音室(朗読ボランティア)
- 参加者 鷹巣中学校1～3年生 41人  
 ○開催日 平成27年10月23日  
 会場 綴子小学校
- 参加者 綴子小学校4年生 20人  
 ○開催日 平成27年10月28日  
 会場 鷹巣小学校
- 参加者 鷹巣小学校4年生 51人  
 ○開催日 平成27年12月28日～1月11日 (7日間)  
 会場 児童館、子育てサポートハウス  
 地域福祉センターデイサービス  
 地域福祉センター録音室(朗読ボランティア)
- 参加者 鷹巣中学校1～3年生 70人

### ③ ボランティアスクール

- ・開催日 平成27年7月30日～31日(1泊2日)
- ・会場 ケアタウンたかのす・サポートハウスたかのす(宿泊場所)
- ・参加者 小学生 13人

夏休みを利用し、宿泊体験型のボランティアスクールを開催した。お寺での座禅体験や、施設を利用している高齢者の買い物支援、レク交流などたくさんの方達とのふれあいを通じ、福祉の心を醸成する機会となった。

④ 福祉教育応援事業

地区名		年度		
		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
たかのす	件 数	9	9	9
	助成金額	350,000	360,000	360,000
あいかわ	件 数	4	4	2
	助成金額	160,000	160,000	80,000
もりよし	件 数	3	3	3
	助成金額	120,000	120,000	120,000
あ に	件 数	3	3	3
	助成金額	120,000	120,000	120,000
合 計	件 数	19	19	17
	助成金額	750,000	760,000	680,000

北秋田市内の小、中、高等学校の児童・生徒の福祉に対する理解と関心を深め、地域に根ざした福祉教育を実践していただくために助成を実施。北秋田市社会福祉大会において、福祉教育応援事業の取り組みを2校にいただいた。

⑤ 地域福祉活動支援事業

地区名		年度		
		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
たかのす	件 数	14	10	13
	助成金額	469,000	448,500	662,500
あいかわ	件 数	12	13	13
	助成金額	415,000	493,500	556,500
もりよし	件 数	16	19	19
	助成金額	883,000	932,500	962,000
あ に	件 数	12	12	11
	助成金額	448,500	481,000	391,000
合 計	件 数	54	54	56
	助成金額	2,215,500	2,355,500	2,572,000

自治会等の申込件数は昨年度より増えており、事業内容も充実した自治会が増えたため助成金額も20万円ほど増加している。事業を支えるボランティア

に負担がかかりすぎると継続が困難になることから、今後は自治会単位でのいきいきサロンや居場所づくりなどへ財政面のみならず、参画支援でのサポートもしていくと共に、この事業の趣旨をもっとPRし地域での支え合い、助け合いづくりの構築をめざしていきたい。

#### ⑥ 地域福祉活動モデル自治会推進事業

向本城自治会をモデル自治会対象に、サロンの立ち上げや、地域課題について一緒に取り組んだ。自治会役員が中心となり構成された地域推進委員会に社協職員も加わり、月1回の推進会議を通じて地域住民への理解と協力が図られ、自治会の地域福祉活動の仕組みが確立した。

#### ⑦ ボランティア団体活動助成

公募による市民活動応援事業としてプレゼンテーションを行い22団体26事業について1,687,468円を助成した。共同募金の助成が活動資金として有効に活用され、住民の理解や協力が得られるように努めている。しかし、ボランティア団体が高齢化などにより減り、同時に申請団体も減ってきている。次世代のボランティア育成も含め、今後も地域福祉への関心を高めながら活動への参加層を広げる運動を展開していきたい。

また、ボランティア保険には362件の加入があった。充実したボランティア活動を継続的に行っていただくためにも、保険加入への周知を図りたい。

#### ⑧ 世代間交流

- ・開催日 平成27年8月4日、5日、7日、17日、18日、19日
- ・会場 青山荘・たかのすケアセンターそよ風・地域福祉センターデイサービス・ケアタウン・つづれこデイサービス・つづれこグループホーム・グループホームふなみ（7事業所）
- ・参加者 283人

鷹巣地区の児童館と児童クラブに通う児童と市内の7施設に入所や利用をしている高齢者が手作りのコマや、手あそびと踊りなどで交流を深めた。児童の高齢者を敬う心の育成と、高齢者には生き甲斐を感じてもらうことができた。

- ・開催日 平成27年11月10日
- ・会場 みちのく子供風土記館
- ・参加者 41人

子育てサポートハウスに通う親子と鷹巣地区の老人クラブの会員が共同でだまっこ作り交流会を開催し、昔ながらの料理の伝承、昔遊びで三世代41名

が交流した。三世代で交流する機会が少ない若い母親世代には好評だった。

### ⑨ 除雪ボランティア活動

地区名	団体名	実施世帯
たかのす	比内養護学校鷹巣分校中高等部 27人	3世帯
あいかわ	合川中学校 秋田県民生協会	本年度も左記団体よりボランティアの希望があったが少雪のため除雪ボランティアが必要な世帯がなく、本年度は実施なし。
もりよし	森吉中学校 42人	4世帯
あに	阿仁中学校 37人	5世帯

除雪が困難な一人暮らし高齢者の方、障がい者世帯の方々を対象に実施している。今年度は雪不足のため、予定はしていたものの相次いで中止となり、昨年度と比較しても大幅減となった。

また、除雪時は毎年自治会、民生委員児童委員からも協力をいただいている。

### ⑩ サロンボランティア養成講座

地域の居場所づくりや介護予防の一環として、各地域で「サロン活動」を展開する中で、サロンボランティアの方々が、楽しみながらサロン運営を続けていただくための情報提供と地域福祉の活性化を目的にサロンボランティア養成講座を開催した。

高齢者の理解や接し方、高齢者の方が楽しく過ごせるレクリエーションメニューの紹介など社協職員が講師を務めた。

- ・開催日 平成28年2月17日、18日
- ・会場 北秋田市交流センター、北秋田市森吉生活支援ハウス
- ・参加者 69人

### ⑪ 災害ボランティア事前登録団体

1団体が新たに加わり14団体となり、災害復旧に備えた連携体制を強化した。

- 1) 平成27年8月20日に災害ボランティア事前登録団体ネットワーク会議を開催した。会議では、北秋田市危機管理係より北秋田市地域防災計画の概要について基

調説明をいただき、防災計画の共通認識を得た。また、共同募金から助成を受けて災害ストックヤードを整備したことから、現場実習を通して地域内連携のもと有効活用するための研鑽を積んだ。

2) 平成27年10月5日・6日の2日間にわたって、災害ボランティアコーディネーターフォローアップ研修会を開催した。研修会では県内の災害ボランティアコーディネーター及び県内市町村社協の職員、市内事前登録団体総勢50名が参加し、実践演習を通して知識や技術を習得し、参加者の連携を強化することができた。また、被災地想定の自治会・町内会関係者の見学会も併せて開催し、被災地支援のしくみ、復興に向けた地域内連携のあり方を共有することができた。



#### 4、健康と生きがい、仲間づくり活動の推進

##### ① ふれあいいいききサロン

地区名		年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
たかのす	社協主催	開催回数	56	56	45	45
		参加実人員	131	106	97	92
		延参加者数	1,035	919	830	766
	自治会等主催	開催回数	—	—	138	327
		延参加者数	—	—	2,198	5,908
あいかわ	社協主催	開催回数	106	72	60	48
		参加実人員	85	32	33	23
		延参加者数	1,035	561	487	741
	自治会等主催	開催回数	—	—	92	99
		延参加者数	—	—	1,432	1,506
もりよし	社協主催	開催回数	202	44	46	46
		参加実人員	189	117	12	12
		延参加者数	1,880	614	409	458
	自治会等主催	開催回数	—	—	345	337
		延参加者数	—	—	3,932	3,690
あ に	自治会等主催	開催回数	100	121	115	85
		延参加者数	1,739	2,081	2,210	1,703
もろび苑	社協主催	開催回数	366	365	365	365
		参加実人員	7	3	1	2
		延参加者数	238	72	46	80
合 計	社協主催	開催回数	730	537	516	504
		参加実人員	412	258	143	129
		延参加者数	4,188	2,166	1,772	2,045
	自治会等主催	開催回数	100	121	690	848
		延参加者数	1,739	2,081	9,772	12,807

高齢者の閉じこもり防止・生きがいづくりとしての役割や地域住民が気軽に参加できる場として参加者から喜ばれている。自主的に活動が行われ、各サロンでは地域性や特色を活かし実施されている。今後も地域福祉活動支援事業を活用して自治会や町内会、民生委員児童委員等が主体となって運営支援を行うサロンが増えるよう呼びかけていきたい。

② 学んであんしん福祉講座

地区名		年度				
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
たかのす	開催回数	37	22	16	11	11
	参加者数	622	456	322	390	234
あいかわ	開催回数	43	32	40	53	45
	参加者数	537	384	503	831	683
もりよし	開催回数	5	11	0	5	6
	参加者数	50	95	0	80	114
あ に	開催回数	6	3	8	15	17
	参加者数	138	50	134	116	192
合 計	開催回数	91	68	64	84	79
	参加者数	1,347	985	959	1,417	1,223

住民の関心の高い認知症への理解、転倒予防、健康体操、歯の健康、介護保険制度、福祉用具等をテーマに自治会やグループを対象に地域の会館等を会場に開催した。地域に出向くことによって、参加者から常日頃困っていることを話してもらい機会にもなり、個別課題発見の場にもなっている。今後も積極的に呼びかけながら地域の隅々に出向く必要がある。

③ 介護教室

地区名		年度				
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
北秋田 市	開催回数	4	3	1	2	1
	参加者数	75	47	14	40	10

今年度は開催を1回とし、もりよし地区で行った。開催地区以外からの参加が少なく、今後の課題となった。また、内容についても、昨年度と同様の内容としたため、今後は、介護に興味を持ってもらえるような、もっと参加したいと思っていただけるような内容となるよう工夫が必要と思われる。参加された方からは、勉強になった・今後も参加したいと感想があり、概ね好評だった。

#### ④ 介護者のつどい

地区名		年度		
		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
北秋田市	開催回数	2	2	1
	参加者数	37	44	16

開催を1回のみとし、曜日や場所等を考慮しながら開催した。『笑いヨガ』を体験しながら介護者同士の交流を深め、参加者からは好評だった。

毎回参加者の募集に苦戦しており、介護者にとって興味を引く内容となるよう、また男性参加者が少ないため、男性でも楽しめて気軽に参加しやすい会となるよう工夫したい。

#### ⑤ 一人暮らし等高齢者交流会

地区名	開催日	会場	参加者
あいかわ	年 6回	八峰町・潟上市・能代市・大潟村・ 青森県深浦町他	延131人
もりよし	年 4回	買い物支援、施設見学	延89人
あ に	年 4回	買い物ツアー・交流会	延66人

内容としては、花見、軽費老人ホーム大野台エコーハイツとの交流会、民生委員児童委員との交流会、買い物ツアー、笑いヨガを実施している。

高齢者相互の交流を深め、社会参加と孤独感の解消を図ることを目的に地域の民生委員児童委員、ボランティアの協力を得て実施している。ふだん一人で買物に出かけることが困難な高齢者を対象に買い物支援を行った。

参加者には好評であり、もっと多くの方が参加できるよう事業の周知に努めた。

#### ⑥ 高齢者夫婦世帯交流事業

「あいかわ地区」

- ・開催日 平成27年10月9日
- ・内容 青森県田舎館村「田んぼアート」を見学して、車中で情報交換し、昼食しながら交流を深めた。

「もりよし地区」

- ・開催日 平成28年3月14日
- ・内容 健康チェック、介護保険制度について説明、レクリエーションを

行い交流を深めた。

- ・参加者 12人

#### ⑦ 障がい者社会参加推進事業

地区	開催日	会場(内容等)	参加者
北秋田市	平成27年6月14日	能代市ショッピングモール(買い物ツアー) 在宅障害者支援施設トライアングル(座談会)	15人
北秋田市	平成27年10月24日	ボウリング体験 大館市ショッピングモール(買い物ツアー)	14人
北秋田市	平成28年3月5日	北秋田市交流センター(焼きだまっこ鍋交流会)	18人
あに	平成27年5月29日	あに支所前(プランターに花植え)	15人
あに	平成27年8月21日	阿仁ふるさと文化センター(交流会)	13人
あに	平成27年10月23日	北秋田市内(紅葉見学)	6人
あに	平成27年12月25日	阿仁ふるさと文化センター(交流会)	8人

さまざまな障がいのある人が地域の中で安心して生活が送れるよう支援を行い、生きがいの持てる社会生活に欠かせない仲間づくりを後押しした。また、個別の心配ごとについては専門の職員が自立に向けたアドバイスを行うことができた。事業には民生委員児童委員やボランティアの協力を得ながら行うことができ、今後も地域との関わりを持ちながらつどいの場として事業を広めていきたい。

#### ⑧ 当事者団体の支援

老人クラブ連合会、身体障がい者協会、手をつなぐ育成会、遺族連合会、ボランティア連絡協議会等の事務局を担当した。活動を支援して健康と生きがい、仲間づくりを推進した。

#### ⑨ 除雪機及び福祉車両貸出事業

福祉車両は様々な団体に活用していただき喜ばれた。また、降雪量が例年より少なかった影響もあり除雪機の貸出は1件となった。車両等貸出機器のメンテナンスを丁寧に行い、安全性の維持に努めたい。

- ・除雪機 貸出件数 1件
- ・福祉車両 貸出件数 106件 延べ利用者 2,221人

## 5、地域福祉活動の推進

### ① 全戸訪問活動

地区名		年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
たかのす	訪 問 世帯数		6,390	6,745	6,686	7,236	7,265
あいかわ			2,074	2,115	2,020	2,099	2,136
もりよし			2,041	2,059	2,032	2,052	2,115
あ に			1,273	1,233	1,234	1,172	1,159
合 計			11,778	12,152	11,972	12,559	12,675
訪問先 世帯 区 分	A (意見・相談があった)		6,235	5,931	6,227	421	353
	B (話げできた)		3,115	3,290	2,627	8,525	8,471
	C (その他)		94	81	78	473	880
	P (不在)		2,334	2,850	3,040	3,140	2,971

9年目になる全戸訪問活動は5月20日～6月10日までの期間、社協職員476人が参加し実施した。平成27年度から施行された生活困窮者自立支援事業と「くらし相談センター」についてリーフレットを配布しながら、これまで制度の狭間にうもれがちだった困窮状況にある方への支援に関し理解を深めていただけよう周知を行った。

### ② 小ネットワーク活動

小地域ごとに自治会、民生委員児童委員と連携し、要援護世帯の状況を把握し、見守り活動を行った。また、全戸訪問からの訪問記録をもとに気になる世帯をピックアップし、近隣協力員にも参加してもらい小ネット会議を開催したケースもある。課題としては個人情報保護の問題、地域の見守り協力員の高齢化や空白など挙げられるが、住民が安心して生活が出来るよう地域住民による支え合い・たすけあい活動を積極的に展開したい。

### ③ 地域安全活動

当会は北秋田警察署と地域安全に関する覚書を締結しており、交通事故や犯罪のない地域をめざして地域見守りネットワークに取り組んでいる。公用車にステッカーを貼り、犯罪や事故の発生抑止を図っている。平成27年度は行方不明者等の捜査活動は2件と少なかったものの、町中で転倒している方を発見し保護した事例が1件、路上で徘徊し保護した事例が2件、虐待が疑われるケ

ースや孤独死の情報提供なども寄せられ、地域安全活動に寄与する部分も多様化してきている。

④ 認知症高齢者等見守りネット事業

登録内訳	年度	
	平成 26 年度	平成 27 年度
登録利用者数	21	30
登録協力者数（個人）	3	3
登録協力者数（団体）	14	15
登録協力者数（事業所）	50	51

認知症の方が住み慣れた地域で安心して生活出来るように、暖かく見守る仕組みづくりとして各関係機関と、地域住民の協力のもとで事業を展開している。平成 27 年度は登録者が所在不明になり捜索したケースは 2 件あったが無事発見に至っている。

今後とも事業の趣旨を PR し利用者、協力員の増強に努めたい。

⑤ たすけあい資金貸付事業

地区名		年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
たかのす	貸付件数		42	37	26	23	17
	貸付金額		1,845,000	1,458,000	1,020,000	1,051,500	665,000
	償還金額		1,590,000	1,944,500	1,175,000	1,142,000	1,114,900
あいかわ	貸付件数		12	13	16	12	8
	貸付金額		415,000	480,000	670,000	410,000	340,000
	償還金額		431,000	561,000	763,000	870,000	542,000
もりよし	貸付件数		9	11	7	9	4
	貸付金額		460,000	570,000	300,000	440,000	190,000
	償還金額		235,000	484,000	526,000	445,000	255,000
あ に	貸付件数		4	3	4	8	4
	貸付金額		200,000	122,000	62,000	206,250	162,750
	償還金額		255,000	152,000	67,000	110,000	187,750
合 計	貸付件数		67	64	53	52	33
	貸付金額		2,920,000	2,630,000	2,052,000	2,107,750	1,357,750
	償還金額		2,511,000	3,141,500	2,531,000	2,567,000	2,104,650

貸付件数、金額とも昨年度に比べ減少した結果となった。くらし相談と併用しながら、貸付の他一時的な食糧支援など自立に向けた一体的な取り組みを行ったケースもあった。

また、償還に関しては、民生委員児童委員と連携を図りながら指導に努めている。

【たすけあい資金運営委員会】

開催日	会場	出席者	内容
平成27年 6月30日	北秋田市森吉生活支援ハウス	6名	① 運営に関する検討事項について ② 償還状況について（貸付・償還状況・滞納者への督促状況・償還免除等）

⑥ 生活福祉資金貸付事業

地区名		年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
たかのす	貸付件数		4	3	0	0	0
	貸付金額		1,539,000	1,160,000	0	0	0
あいかわ	貸付件数		3	0	0	0	0
	貸付金額		4,940,000	0	0	0	0
もりよし	貸付件数		0	0	0	0	0
	貸付金額		0	0	0	0	0
あ に	貸付件数		0	0	0	0	0
	貸付金額		0	0	0	0	0
合 計	貸付件数		7	3	0	0	0
	貸付金額		6,479,000	1,160,000	0	0	0

市全体で5件の相談を受け付けたが、申請には至らなかった。生活困窮者自立支援法施行に併せて、総合支援資金、緊急小口資金の借受人は自立相談支援事業の支援を受けることが義務化されたが、他制度の活用が適していたり、限られた収入内での立て直しを優先したり等の支援を行ったため、本制度を活用したケースはなかった。

⑦ 地域福祉権利擁護事業

地域名		年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
上小阿仁村	実利用者数		2	0	
たかのす			12	7	
あいかわ			0	0	
もりよし			0	1	
あ に			1	1	累計実利用者数
契約数			15	8	23
解約件数			4	1	年度末利用実人員
合 計			11	7	18



秋田県社会福祉協議会より委託を受けて2年目となり、初年度に比べ契約件数は落ち着いた。今後は地域の必要な方に情報が届くように、広報活動を継続的に行う必要がある

⑧ 北秋田くらし相談センター

区分 \ 年度	平成 27 年度
相談件数	137
プラン作成	15
家計相談支援	1

平成27年度から施行された「生活困窮者自立支援法」に基づき、4月1日より自立相談支援事業を市から受託し、「北秋田くらし相談センター」を開設した。

相談者と一緒に自立に向けたプランを作成し、支援調整会議でプラン内容を検討している。支援調整会議は、行政の関係部署、弁護士、他の福祉法人、ハローワークなどの関係機関が集まっていたき、毎月1回（年間12回）開催した。また、10月1日からは、家計相談支援事業も受託し事業を開始している。

⑨ ほほえみ祝い金

地区名 \ 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
たかのす	贈呈者数	102	95	96	91	108
あいかわ		26	35	33	25	20
もりよし		24	29	28	18	16
あ に		4	6	8	4	8
合 計		175	156	165	165	152

共同募金の助成金により民生委員児童委員、自治会長を通してお祝い金を添えて友愛訪問を行っており喜ばれている。また、共同募金の使途についても広く周知できる機会となっている。

⑩ 高齢者世帯防火査察指導

地区名	実施日	対象世帯
たかのす	平成28年 1月 25日	5世帯
	平成28年 2月 9日	11世帯
	平成28年 2月 22日	9世帯
	平成28年 2月 23日	6世帯
あいかわ	平成28年 2月 1日	8世帯
	平成28年 2月 4日	
もりよし	平成28年 2月 10日	7世帯
あ に	平成27年11月 6日	10世帯

一人暮らし高齢者等を消防署員と社協職員が訪問し、ストーブやガスコンロ等火の元の管理、たこ足配線、避難経路の確保、火災警報器について点検をした。高齢者の防火に対する意識が高まる効果があった。今年度は各支所が各消防分署と連携しながら実施することができた。

⑪ 介護用品貸出事業

地区名		年度				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
たかのす	延利用 者数	26	37	35	45	67
あいかわ		21	21	27	16	23
もりよし		6	4	6	14	12
あ に		8	11	10	11	14
合計		81	61	73	78	86

緊急的に福祉用具が必要な方へ、車イスや吸引器などを無料で貸し出しており喜ばれている。高齢者等だけではなく、怪我をした生徒への貸出もあった。

⑫ 無料法律相談

開設日	会場	相談者	担当弁護士
平成27年4月21日	北秋田市地域福祉センター	4人	藤原美佐子弁護士
平成27年6月19日	〃	8人	藤原美佐子弁護士
平成27年8月25日	〃	7人	藤原美佐子弁護士
平成27年10月28日	〃	7人	藤原美佐子弁護士
平成27年12月22日	〃	7人	藤原美佐子弁護士
平成28年2月24日	〃	7人	藤原美佐子弁護士

10月・12月・2月の開催月はキャンセル待ちがあるほど、法律相談のニーズは引き続き高い。今年度は金銭トラブルに関する相談が最多であった。

6、在宅福祉活動の推進

① 外出支援サービス事業

地区名		年度				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
たかのす	利用実人員	206	185	157	147	143
	延利用者数	4,637	4,536	4,344	4,412	4,366
あいかわ	利用実人員	82	57	62	65	56
	延利用者数	1,082	1,169	1,263	1,259	1,379
もりよし	利用実人員	39	35	34	31	24
	延利用者数	745	849	456	414	372
あ に	利用実人員	3	3	1	0	0
	延利用者数	162	117	2	0	0
もろび苑	利用実人員	6	4	7	8	8
	延利用者数	25	46	37	95	107
合計	利用実人員	336	284	261	251	231
	延利用者数	6,651	6,717	6,102	6,180	6,224

市からの委託事業で高齢者や障がい者（児）等で公共交通機関の利用が困難な方々の送迎を支援しており、利用者に大変喜ばれている。利用の動向は対前年比横ばいである。毎朝の運行前には、担当ドライバー（職員）に対し交通安全遵守を指示、健康チェック、車両の運行前点検など徹底して行っている。また、定

期的に交通安全研修、リフター操作方法等内部研修を実施し、事故防止に取り組んでいる。

医療機関への通院が利用の大半だが、通院時間が重複してしまうことや、休日の透析患者さんへの対応等の調整が今後の課題である。

## ② 食の自立支援事業

地区名		年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
たかのす	利用実人員	72	65	66	58	58	
	延食数	8,792	8,177	8,631	10,590	9,697	
あいかわ	利用実人員	20	23	25	17	21	
	延食数	1,414	1,678	2,302	1,662	1,717	
もりよし	利用実人員	24	21	18	24	38	
	延食数	2,370	2,573	2,173	2,856	4,251	
あに	利用実人員	38	41	39	34	32	
	延食数	1,573	1,981	2,014	2,218	1,754	
合計	利用実人員	154	150	148	133	149	
	延食数	14,149	14,409	15,120	17,326	17,419	

365日の夕食の提供と安否確認の目的で実施されており、利用者からは大変喜ばれている。実人員、延べ食数ともは前年比で増加している。利用希望は多数あるものの、厨房のスペースによる1日あたりの調理食数が限界となっており、制限しているのが現状である。今後の増加に伴う対応と配達時間の調整が課題となっている。

## ③ 緊急通報システム事業（あんしん電話）

地区名		年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
たかのす	設置 世帯数	290	277	270	258	250	
あいかわ		63	66	65	57	59	
もりよし		51	43	40	40	46	
あに		66	64	64	58	62	
合計		482	470	450	439	417	

一人暮らしの高齢者にとっては、設置することにより安心感につながっている。

今後は、定期的な電池交換等のメンテナンスや状況確認を計画的に行う必要があると同時に、耐用年数が経過した機種 of 交換が必要。また、誤報が非常に多いため利用者と定期的にシステムを活用した連絡体制構築に努めたい。

④ 家族介護用品支給事業

地区名		年度				
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
たかのす	利用実人員	56	63	48	49	44
	延利用者数	420	434	363	370	360
あいかわ	利用実人員	10	11	12	15	13
	延利用者数	66	66	69	104	72
もりよし	利用実人員	5	8	6	7	3
	延利用者数	39	32	44	47	20
あ に	利用実人員	9	7	8	10	11
	延利用者数	66	56	46	87	74
合 計	利用実人員	80	89	74	81	71
	延利用者数	591	588	522	608	526

支給対象者は要介護状態や所得により制限されているが、在宅で介護されている方にとっては精神的、経済的負担の軽減につながっている。今後も毎月 1 回の配達時には、介護者の状況確認に努めたい。

⑤ 福祉の雪事業

地区名		年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
たかのす	登録世帯数	711	747	512	498	434	
	延利用回数	4,453	6,157	4,317	4,593	2,418	
あいかわ	登録世帯数	184	196	155	144	128	
	延利用回数	2,189	2,861	1,988	1,866	1,107	
もりよし	登録世帯数	239	264	231	174	168	
	延利用回数	2,211	2,803	1,709	1,673	1,020	
あ に	登録世帯数	232	247	186	186	180	
	延利用回数	2,501	2,977	2,677	2,361	1,918	
合 計	登録世帯数	1,366	1,454	1,084	1,002	910	
	延利用回数	11,354	14,798	10,691	10,493	6,463	

住民にも浸透しており、除雪が困難な高齢者や障がい者世帯の安心感の確保につながっている。平成25年度から所得制限を設けたことや今年度は半径5km以内に子供が別世帯で生活している場合も対象外となり、登録世帯は減となっている。

また、積雪量が非常に少なく、利用回数も大幅減となっている。そのため、大きな混乱もなく終了している。

## 7、介護保険等事業

要介護状態になっても、施設や在宅において、適切な介護サービスを利用することにより、穏やかで安心した生活が送れるよう常に利用者の立場にたった相談援助や質の高いサービスの提供に努めた。利用者の方の尊厳を大切にし、一人ひとりの心に寄り添うきめ細かな介護に取り組んでいる。

介護職員の人材確保が急務になっており、新卒・既卒を対象とした採用試験を複数回実施した。今後もハローワークや秋田県福祉保健人材センターなど、各関係機関と連携をとりながら人材確保を推進し、ホームページなどを利用した求人の情報提供に努めたい。

### ① 居宅介護支援事業

事業所名		年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
たかのす	利用実人員	582	616	629	632	653	
	延利用者数	5,291	5,171	5,285	5,381	4,236	
あいかわ	利用実人員	202	199	197	216	255	
	延利用者数	1,557	1,633	1,813	1,840	1,891	
もりよし	利用実人員	183	198	208	223	274	
	延利用者数	1,555	1,685	1,916	2,106	2,275	
あ に	利用実人員	142	143	194	210	241	
	延利用者数	1,099	1,155	1,388	1,883	1,875	
ケアタウン	利用実人員	200	180	193	201	534	
	延利用者数	1,600	1,675	1,626	1,679	3,103	
合 計	利用実人員	1,309	1,336	1,421	1,482	1,957	
	延利用者数	11,102	11,319	12,028	12,889	13,380	

相談、利用者ともに昨年度より実績が増となった。相談のみで利用に結びつかないケースも増えているが、定期的に声をかけながら必要な方に必要なサービスが提供できるよう努めた。

昨年度から引き続き、新規相談としては施設入所を望まれるケースが多かったが、これまで暮らしてきた自宅での生活が継続できるよう、今後も各関係機関と連携を図りながら丁寧な対応を心がけたい。

② 訪問介護事業

事業所名		年度				
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
たかのす	利用実人員	298	292	269	257	246
	延利用者数	44,301	42,996	43,283	38,291	35,978
あいかわ	利用実人員	111	105	124	120	107
	延利用者数	10,389	10,568	10,822	10,276	10,444
もりよし	利用実人員	80	81	79	84	94
	延利用者数	10,952	9,795	10,086	10,122	10,518
あ に	利用実人員	75	72	54	67	81
	延利用者数	12,905	11,845	9,722	10,572	11,201
もろび苑	利用実人員	37	42	35	32	35
	延利用者数	10,736	10,404	10,815	10,693	12,370
合 計	利用実人員	601	592	561	560	563
	延利用者数	89,283	85,608	84,728	79,954	80,511

鷹巣地区では家族の希望として施設入所を望まれるケースや退院後在宅復帰が難しいケースが多くなってきていることから年々利用者が減少している。

合川、森吉、阿仁地区、もろび苑では延べ利用者数が増え安定していた。

また、介護教室を開催し、地域に出向いて、在宅で介護サービスを利用しながら生活を継続するための支援を紹介し、介護者の負担軽減に取り組んだ。



③ 自費訪問介護事業

事業所名		年度
		平成 27 年度
たかのす	利用実人員	16
	延利用者数	141
あいかわ	利用実人員	2
	延利用者数	3
もりよし	利用実人員	4
	延利用者数	5
あ に	利用実人員	3
	延利用者数	66
合 計	利用実人員	25
	延利用者数	215

介護保険外のサービスを提供する自費訪問介護サービスを開始し、徐々に利用者が増えている。利用希望としては、ショートステイ利用中の通院介助などが多くみられた。

④ 通所介護事業

事業所名		年度				
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
地域福祉 センター	利用実人員	177	168	165	160	166
	延利用者数	11,363	11,166	11,506	10,907	11,191
つづれこ	利用実人員	101	100	100	100	94
	延利用者数	7,458	7,227	7,343	7,173	7,552
もりよし	利用実人員	136	130	143	140	147
	延利用者数	9,333	8,963	9,787	10,358	10,492
もろび苑	利用実人員	57	51	48	42	45
	延利用者数	3,036	2,770	2,761	2,595	2,657
ケアタウン	利用実人員	151	148	106	102	104
	延利用者数	10,908	9,601	6,186	6,458	6,585
サポートハウス	利用実人員	115	110	108	118	107
	延利用者数	7,660	8,007	7,811	7,703	8,032
合 計	利用実人員	737	707	670	662	663
	延利用者数	49,758	47,734	45,394	45,194	46,509

各事業所では特色を活かしたサービス提供に努め、延べ利用者数では大幅な増加になったものの、介護報酬の減額により収支は厳しい状況となった。今後も、市内の居宅介護支援事業所と連携を図るとともに選ばれる事業所を目指したい。

⑤ 訪問入浴介護事業

事業所名		年度				
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
たかのす	利用実人員	76	67	70	68	—
	延利用者数	2,058	1,951	1,947	1,834	—
もりよし	利用実人員	29	35	31	35	—
	延利用者数	1,014	1,058	951	929	—
北秋田市	利用実人員	—	—	—	—	93
	延利用者数	—	—	—	—	2,628
合 計	利用実人員	105	102	101	103	93
	延利用者数	3,072	3,009	2,898	2,763	2,628

本年度は、たかのすともりよしの事業所を統合し、新たに1つの事業所としてスタートした。幅広い地域にきめ細やかなサービスを提供するとともに、サービスの均一化に努めたものの、実績は減となった。

⑥ 訪問看護事業

保険別		年度	
		平成 26 年度	平成 27 年度
医療保険	利用実人員	27	35
	延利用者数	399	849
介護保険	利用実人員	43	68
	延利用者数	1,499	2,455
合 計	利用実人員	70	103
	延利用者数	1,898	3,304

月の利用者は40人後半で維持できており、特に森吉、合川地区の利用者は増えている。医療保険の利用者も増加している中で、ターミナルケア、看取り対応もあった。今後は鷹巣、阿仁地区に対して事業の周知を図るとともに、サービスの質・ケアの質の維持向上に努めたい。

⑦ 福祉用具販売事業

地区名		年度				
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
北秋田市	販売件数	197	164	262	459	315

件数は昨年度より減ったものの、車いすや特殊寝台の販売や、介護保険対象商品も多かったため収支的には実績は良かった。事業所としては、販売後のフォローアップが不十分なため、新規獲得に向けた外部へのPRとともに、販売後の利用者への十分なフォローアップを行うよう努めたい。

⑧ 認知症対応型共同生活介護事業

事業所名		年度				
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
グループホーム ふなみ	利用実人員	23	23	20	19	23
	延利用者数	6,535	6,492	6,533	6,566	6,520
つづれこ	利用実人員	11	10	10	10	9
グループホーム	延利用者数	2,910	2,900	2,902	2,883	2,915
グループホーム	利用実人員	9	11	14	11	13
あいかわ	延利用者数	3,286	3,270	3,225	3,244	3,264
合 計	利用実人員	43	44	44	40	45
	延利用者数	12,731	12,662	12,660	12,693	12,699

グループホームふなみは利用者の入退所が多い年となった。また、家族の希望や主治医の協力もあり、ターミナルの方への対応を行った。

今後も利用者がスムーズに入退所できるよう、定期的な動向調査に努めたい。

⑨ 小規模多機能型居宅介護事業

事業所名		年度				
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
だんらん	利用実人員	22	26	29	27	27
ハウス	延利用者数	6,790	7,079	6,274	5,719	6,272

今年度は、入院などもあったため入退所の多い1年となった。また、利用者の平均年齢や介護度が高くなり、通い泊まりの延べ回数が増えた。利用者の体調管理を徹底し、安定した利用を継続して頂けるよう取り組みたい。

⑩ 外部サービス利用型特定施設事業

施設名		年度				
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
もろび苑	利用実人員	37	42	35	32	35
	延利用者数	10,736	10,404	10,815	10,693	12,370

利用者はもろび苑入所者に限られているため、市より措置される入所者の介護度によって利用実績は変動する。年々入所者の要介護度が高くなっており、利用者が増加している。

⑪ 介護老人保健施設

施設名		年度				
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
たかのす	利用実人員	114	117	120	102	103
	延利用者数	29,158	29,099	29,179	29,187	29,272

延べ利用者が増加しており、稼働率は安定している。療法士の増員により、短期集中リハビリなど強化が図られた。今後も入退所を円滑に進めながら在宅復帰から看取りまで幅広い要望にきめ細かく対応したい。

⑫ 通所リハビリテーション事業

施設名		年度			
		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
たかのす	利用実人員	45	73	76	62
	延利用者数	444	3,881	4,441	4,817

リハビリ職員を増員し、個々の能力に応じた効果的なリハビリの提供に努めた結果、昨年度と比較して延べ利用者が大幅に増えた。

⑬ 短期入所生活介護事業

施設名		年度				
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
たかのす	利用実人員	196	171	163	124	139
	延利用者数	10,404	10,368	10,279	10,524	10,282

急なキャンセルや入院等があり、昨年度と比較し延べ利用者数は減少となった。状況に応じて急な入所にも対応出来るよう、各事業所と連携を図りながら利用者の確保に努めたい。

⑭ 福祉用具貸与事業

事業所名		年度				
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
補助器具 センター	利用実人員	484	512	523	503	512
	延利用者数	3,548	3,583	3,722	3,889	4,116
福祉用具 センター	利用実人員	—	—	—	59	89
	延利用者数	—	—	—	282	130
合 計	利用実人員	484	512	523	562	601
	延利用者数	3,548	3,583	3,722	4,171	4,246

1 2 月より北秋田市社協福祉用具センターの利用者を、補助器具センターへ引き継いだ。事業の周知のために居宅介護支援事業所を訪問したり、地域に積極的に出向いたりしてPR活動を行った。

今年度初めて北秋田市産業祭に出展して、最新の福祉用具として介護ロボット等を展示して多くの人で賑わった。

⑮ 福祉用具安心サポート事業

事業所名		年度				
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
補助器具 センター	延利用者数	472	620	668	649	708
	福祉用具 センター	延利用者数	—	—	—	26
合 計	延利用者数	472	620	668	675	739

介護保険対象外の方へ福祉用具を有料で貸し出している。年々利用者は増えていて要介護1以下の方でも介護用ベッドを希望する方が多い。

⑯ 特別養護老人ホームプロジェクトチーム

北秋田市の第6期介護保険事業計画に基づき、介護サービス事業所の整備・運営事業者に申請したところ、広域型の特別養護老人ホーム60床に当法人が選定された。

それに伴い特別養護老人ホームの建設、開所の具体的な実現に向け、必要な事項を調査し研究することを目的にプロジェクトチームを立ち上げ、週1回開催し

基本設計や運営に関わる協議を進めた。

## 8、指定管理施設運営事業

市の条例及び関係法令に基づき、市から指定管理者の指定を受けている9施設の管理運営を行った。質の高いサービスかつ安全安心なサービスを提供すると共にサービスの拡大、施設の有効活用や地域交流を図りながら効率的運営かつ管理運営費の削減に努めた。しかし、施設の老朽化に伴う修理費の増加や一部器具・備品の更新など課題も在り、今後も北秋田市と連携をとりながら適切な施設の管理に努めたい。

### ① 養護老人ホームもろび苑

施設名		年度				
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
養護老人ホーム もろび苑	利用実人員	59	60	54	54	56
	延利用者数	18,019	17,567	18,021	18,194	17,854

利用者の平均年齢が年々高くなってきているので、入院等が増えている。今後もきめ細かな健康管理に努めたい。

### ② サポートハウスたかのす・北秋田市森吉生活支援ハウス

事業所名		年度				
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
サポートハウス たかのす	利用実人員	21	26	21	24	23
	延利用者数	7,203	6,591	6,557	6,591	6,939
	地域交流事業	50	32	28	84	251
北秋田市森吉 生活支援ハウス	利用実人員	27	25	23	25	23
	延利用者数	7,106	7,193	6,493	6,213	6,641
合 計	利用実人員	48	51	44	49	46
	延利用者数	14,309	13,784	13,050	12,804	13,580

#### <住居提供事業>

サポートハウスたかのす、北秋田市森吉生活支援ハウスどちらも入居者の高齢化に伴い介護度が高くなっている。介護の必要な利用者が増加してきているため、日常生活の安全確保に努めたい。

<地域交流事業>

児童の福祉体験事業、療法士実習、老健面会等で利用実績に結びついた。今後  
も地域交流の場を積極的に作り、施設を有効に活用出来るよう働きかけたい。

③ 老人憩いの家

施設名		年度				
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
ことぶ き荘	会館日数	254	308	307	308	309
	延利用者数	2,260	2,242	2,251	2,407	2,816

いきいきサロンを毎週開催しているため利用者増となった。

9、児童福祉の推進

① 児童館の運営

児童館名			年度				
			平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
鷹巣児童館	延利用者数	幼児	683	447	492	739	583
		児童	17,895	19,107	20,270	20,788	25,476
		大人	830	749	712	671	564
太田児童館	延利用者数	幼児	589	489	400	296	258
		児童	8,163	7,786	7,534	9,493	10,709
		大人	862	786	743	1,853	571
鷹巣中央児童館	延利用者数	幼児	783	651	578	418	317
		児童	14,088	13,836	12,698	12,645	13,321
		大人	1,265	1,091	1,013	507	676
綴子児童館	延利用者数	幼児	543	462	369	285	204
		児童	10,266	11,305	10,983	9,798	9,262
		大人	859	872	723	737	521
鷹巣西児童館	延利用者数	幼児	433	456	374	348	277
		児童	11,352	11,975	11,096	13,079	14,239
		大人	630	642	628	658	506
合 計	延利用者数	幼児	3,031	2,505	2,213	2,086	1,639
		児童	61,764	64,009	62,581	65,803	73,007
		大人	4,446	4,140	3,819	4,426	2,838

各児童館が特色ある活動を実施したほか、学校、家庭、各関係機関との連携  
を図り、児童が安全安心に過ごせる居場所作りに努めた。育児サークルを実施  
し、在宅で子育てしている親子支援の充実を図るとともに、各関係機関との共



催で世代間交流会を実施し、児童と高齢者施設の方々との交流を深めることができた。支援児童への共通理解を深めるために、内部研修として対応や援助の工夫を学び、職員の資質向上に努めた。

② 子育てサポートハウス「わんぱあく」の運営

区 分		年 度				
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
つどいの広場	延利用 者数	8,737	7,945	6,189	6,401	6,422
一時預かり		1,030	1,144	1,058	970	1,033
病児保育		6	4	2	0	11
病後児保育		4	6	10	49	19
電話相談		19	31	21	24	36
来所相談		137	124	114	84	120
見学者		2,395	2,175	2,398	1,685	2,042
合 計		12,328	11,429	9,792	9,213	9,683

昨年に比べ一時預かりが増加し、多くの託児を受け入れることができた。電話や来所等での利用受入の相談件数も増え、より多くの方々に活用していただけるよう努めた。全体的には育児サークル等の行事を実施したことによって、子育て支援の充実に取り組むことが出来た。

③ 障害児通所支援事業「もろびこども園」の運営

事業所名		年度				
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
もろび こども園	児童発達 支 援	1,066	959	1,084	945	1,217
	放課後等 デイサービス		146	200	351	608
	保育所等 訪問支援		9	0	0	0
合 計		1,066	1,114	1,284	1,296	1,825

利用者数、稼働ともに増加し、過去数年で最も利用の多い年度となった。市や地域の保育園、小学校と連携を図りながら、利用者と保護者への支援に努めた。

専門的な知識や経験が求められるため、今後も有資格者の確保とともに資質向上に努めたい。

④ 相談支援事業

事業所名			年度			
			平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
北秋田市 社協相談 支援事業所	特 定	利用実人員	23	40	70	84
		延利用者数	68	173	608	660
	障 害 児	利用実人員	0	0	34	38
		延利用者数	0	0	144	157
	一 般	利用実人員	0	30	55	53
		延利用者数	0	179	567	432
もろび こども園	特 定	利用実人員	2	12	4	0
		延利用者数	4	44	20	0
合 計		利用実人員	25	82	163	175
		延利用者数	72	396	1,339	1,249

稼働としては利用者の住居状況が変わり、一般相談支援の延べ実績が大幅に減った。新たに外部機関との会議を定期的に行い、連携を図るよう努めた。

## 10、共同募金運動への協力

### 【赤い羽根共同募金運動】

地区名等		年 度				
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
目 標 額		12,082,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000
達 成 率		98.7%	98.2%	97.4%	95.8%	90.4%
たかのす	募金額	5,547,846	5,447,500	5,351,932	5,375,555	5,194,465
あいかわ		2,628,191	2,679,874	2,707,436	2,722,348	2,267,311
もりよし		2,477,027	2,466,152	2,429,167	2,347,573	2,282,766
あ に		1,266,771	1,188,247	1,195,252	1,056,786	1,102,709
自動販売機等				18,505	38,952	42,089
合 計		11,919,835	11,781,773	11,702,292	11,541,214	10,889,340

目標額12,000,000円に対して90.4%の実績と大幅な募金額の減少となった。世帯数の減少や経済状況の低迷など厳しい状況はあるものの、今以上に募金の使い途を知っていただく活動を行うとともに、イベント募金や募金百貨店など新たな事業展開を図っていきたい。

### 【公募による市民活動応援事業】

内 訳		年 度				
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
申込団体数		27	36	33	28	22
申込事業数		33	42	34	29	26
助 成 額		1,723,267	2,500,315	2,128,197	2,135,163	1,687,468

地域の福祉課題解決のために活動する、ボランティア団体や自治会などを資金面で応援し地域の活性を図ることができた。財源が「赤い羽根共同募金」ということで、助成団体が自ら募金に積極的に協力してくれるようになり、年々募金への理解が深まっている。

今後も自主的な福祉活動がもっと活発に行われるように、各団体に事業の活用を働きかけたい。